

CE 部会では、例年、部会関連製品に関する各種調査を実施している。その中でも、AV 機器の世界需要動向調査は、1991年に当時の民生海外調査委員会が『AV8品目世界需要予測』として開始して以来20年以上継続しており、その報告書は「黒本」の通称で各方面にてご活用いただいている。

平成24年度は、パーソナルコンピュータ、タブレット端末の世界需要を追加するなど内容を見直し、新たに『AV&IT 機器世界需要動向調査』として実施した。

報告書の中からフラットパネルテレビとパーソナルコンピュータの需要動向概要を紹介する。

## 1. フラットパネルテレビ

### ■世界需要は新興国がけん引

フラットパネルテレビの世界需要は2012年に2億1,799万台となった。今後は、日本・米国・西欧では普及期が過ぎているため成長は横ばいとなるものの、安定した経済成長が見込まれる ASEAN 諸国・BRICs などの新興国では大きく需要が拡大することから全体をけん引し、2017年には2億7,342万台になると見込んだ。

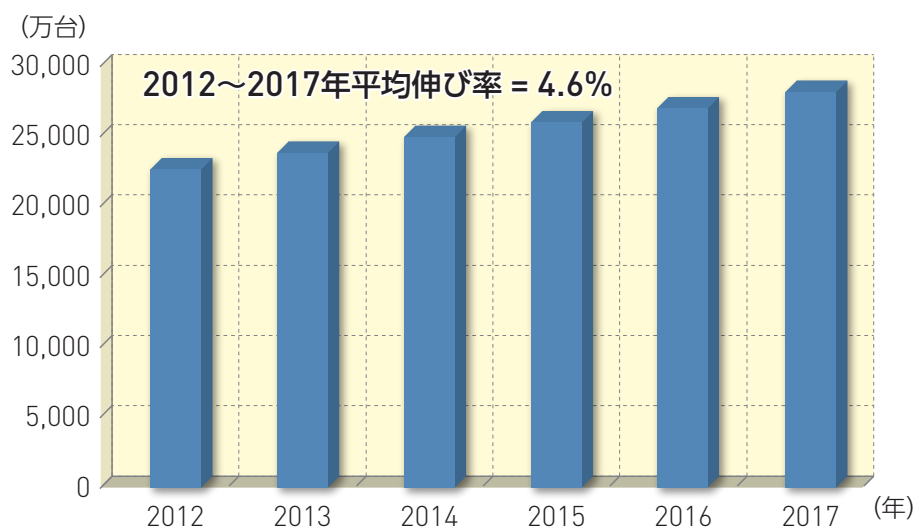


図1. 世界のフラットパネルテレビ需要見通し

### ■国内需要は2017年に地デジ化特需前の水準に

2012年のフラットパネルテレビ国内需要は、前年までの家電エコポイント制度による購入支援や地上デジタルテレビ放送完全移行に伴うテレビの買い替え・買い増し需要の反動により645万台となった。

今後は、デジタルテレビを早期に購入したユーザの買い替え需要や、ケーブルテレビ事業者によるデジアナ変換サービス終了（2015年3月）に伴う需要増加により、2016~2017年には地デジ化特需前（2007年）水準の約900万台前後になると見込んだ。

一方で、スマート化したテレビや4K対応テレビが市場に投入されることによる需要喚起が期待される。

## 2. パーソナルコンピュータ

### ■ 今後は新興国市場を中心に拡大

パーソナルコンピュータ（PC）の世界需要は2012年に3億6,261万台となった。先進国市場は成熟している一方で、新興国の需要は拡大が著しい。今後、先進国需要はスマートフォンやタブレット端末の台頭による影響を受けるものの概ね横ばいで推移するとみられる。また新興国需要はノート型を中心に拡大が加速していき、2017年には世界需要4億7,373万台のうち6割以上を占める規模まで成長すると見込んだ。



図2. 世界のパーソナルコンピュータ需要見通し

### ■ 国内需要は堅調に推移

2012年のPC国内需要は、企業において設備投資が堅調であったため1,531万台となった。10月に発売されたWindows 8は、コンシューマ市場を中心に2013年以降に普及が本格化するとみられる。また、スマートフォンやタブレット端末の台頭は、PC市場を侵食するのではなく、PCとの使い分け・連動により利便性が高まるため、需要創出の面において相乗効果が期待でき、2017年のPC需要は1,520万台になると見込んだ。

本調査は、上記の他3Dテレビ、録画対応テレビ、ケーブルテレビ用セットトップボックス、DVD・BD、ビデオ一体型カメラ、ステレオセット、ホームシアター音響システム、デジタルオーディオプレーヤ、タブレット端末を対象としており、報告書全文はJEITAサービスセンターにて頒布中。

頒布価格：会員 = 10,000円、非会員 = 20,000円

※カーエレクトロニクス事業委員会のまとめによる『カーAVC機器世界需要動向』付

<http://www.jeita.or.jp/cgi-bin/public/detail.cgi?id=481&cateid=2>